

試験日	令和8年9月18日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業をいう。

（ ）

問2【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の揭示）

事業者は、運賃及び料金（個人（事業として又は事業のために運送契約の当事者となる場合におけるものを除く。）を対象とするものに限る。）、定款その他国土交通省令で定める事項を主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように揭示しなければならない。

（ ）

問3【貨物自動車運送事業法】(運行管理者資格者証の返納)

国土交通大臣は、運行管理者資格者証の交付を受けている者がこの法律若しくはこの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときは、その運行管理者資格者証の返納を命ずることができる。

()

問4【貨物自動車運送事業法】(事業の適確な遂行)

事業者は、次に掲げる事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。

- 1 事業用自動車を保管することができる自動車車庫の整備及び管理に関する事項
- 2 健康保険法等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項
- 3 前2号に掲げるもののほか、輸送の安全に係る事項以外の事項であってその事業を適確に遂行するために必要なもの

()

問5【貨物自動車運送事業法】(事業)

貨物自動車運送事業法第38条に定める地方実施機関は、貨物自動車運送事業に関する貨物自動車運送事業者又は荷主からの苦情を処理する。

()

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】(届出)

事業者たる法人であって、役員のうち、監査役に変更があった場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長への届け出は要しない。

()

問 7 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（整備管理者の研修）

貨物自動車運送事業者は、道路運送車両法第 50 条第 1 項の規定により選任した整備管理者であって次に掲げるものに地方運輸局長が行う研修を受けさせなければならない。

- 一 整備管理者として新たに選任した者
- 二 最後に当該研修を受けた日の属する年度の末日を経過した者

()

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（点呼等）

貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則の規定により点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者等ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、かつ、その記録を 3 年間保存しなければならない。

()

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（業務の記録）

事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った事業用自動車ごとに貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録させ、かつ、その記録を 1 年間保存しなければならない。

()

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（適正な取引の確保）

事業者等は、運送条件が明確でない運送の引受け、運送の直前若しくは開始以降の運送条件の変更、荷主の都合による集貨地点等における待機又は運送契約によらない附帯業務の実施に起因する運転者の過労運転又は過積載による運送その他の輸送の安全を阻害する行為を防止するため荷主の意向にかかわらず、適正な取引の確保に努めなければならない。

()

問 1 1 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理規程）

事業者等は、運行管理者の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定め、遅滞なく国土交通大臣に届け出なければならない。

()

問 1 2 【自動車事故報告規則】（速報）

事業者等は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

()

問 1 3 【労働基準法】（労働条件の明示）

使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。明示された労働条件が事実と相違する場合は、労働者は即時に労働契約を解除することができるが、就業のために住居を変更した労働者が、契約解除の日から15日以内に帰郷する場合においては、使用者は、必要な旅費を負担しなければならない。

()

問 1 4 【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

ア. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり48時間を超えないものとする。

()

イ. 1日についての拘束時間は、8時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、13時間とする。

()

ウ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとする。

()

エ. 労使協定を締結しない場合の拘束時間は、1箇月について320時間を超えないものとする。

()

オ. 勤務終了後、継続11時間以上の休息期間を与えるよう努めることを基本とし、休息期間が継続9時間を下回らないものとする。

()

問 1 5 【労働安全衛生法】(法令等の周知)

労働安全衛生法に定める事業者は、労働安全衛生法及びこれに基づく命令の要旨を常時各作業場の見やすい場所に掲示し、又は備え付けることその他の厚生労働省令で定める方法により、労働者に周知させなければならない。

()

問 1 6 【私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律】(不公正な取引方法)

私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律に定める事業者は、やむを得ない場合を除き私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。

()

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()
内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】(許可の取消し等)

貨物自動車運送事業法において、一般貨物自動車運送事業者が該当した場合、国土交通大臣が六月以内において期間を定めて自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止若しくは事業の全部若しくは一部の停止を命じ、又は許可を取り消すことができる」とされる事由はどれか。次のア～ウの中から2つ選び、()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 国土交通大臣の許可を受けずに有償で旅客の運送を行った
- イ. 一般貨物自動車運送事業者の事業の計画が、過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものでないと国土交通大臣が判断した
- ウ. 一般貨物自動車運送事業者が法人である場合において、役員が一年以上の拘禁刑に処せられた

() ()

問2【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行記録計による記録)

事業者等が貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による運転者等の業務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～クの中からそれぞれ1つ選び【 】にその記号を記入しなさい。

事業者等は、車両総重量が【 】以上又は最大積載量が【 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 】保存しなければならない。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ア. 4トン | イ. 5トン | ウ. 7トン | エ. 8トン |
| オ. 1年間 | カ. 2年間 | キ. 3年間 | ク. 5年間 |

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～カの中から3つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物自動車運送事業輸送安全規則の規定により定められた勤務時間及び乗務時間の範囲内において乗務割を作成し、これに従い運転者を事業用自動車に乗務させること。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びに運転者に対して使用するアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録すること。
- オ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- カ. 運転者等台帳を作成し、営業所に備え置くこと。

（ ）（ ）（ ）

問4【道路交通法】（停車及び駐車を禁止する場所）

道路標識等により停車及び駐車が禁止されている道路の部分及び停車または駐車をしてはならない場所として正しいものはどれか。次のア～エの中から2つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 交差点の側端又は道路の曲がり角からから5メートル以内の部分
- イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から15メートル以内の部分（当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る）
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分

（ ）（ ）

試験日	令和8年9月18日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業をいう。

（ ○ ）

問2【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の掲示）

事業者は、運賃及び料金（個人（事業として又は事業のために運送契約の当事者となる場合におけるものを除く。）を対象とするものに限る。）、定款その他国土交通省令で定める事項を主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

（ × ）

問3【貨物自動車運送事業法】(運行管理者資格者証の返納)

国土交通大臣は、運行管理者資格者証の交付を受けている者がこの法律若しくはこの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときは、その運行管理者資格者証の返納を命ずることができる。

(○)

問4【貨物自動車運送事業法】(事業の適確な遂行)

事業者は、次に掲げる事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。

- 1 事業用自動車を保管することができる自動車車庫の整備及び管理に関する事項
- 2 健康保険法等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項
- 3 前2号に掲げるもののほか、輸送の安全に係る事項以外の事項であってその事業を適確に遂行するために必要なもの

(○)

問5【貨物自動車運送事業法】(事業)

貨物自動車運送事業法第38条に定める地方実施機関は、貨物自動車運送事業に関する貨物自動車運送事業者又は荷主からの苦情を処理する。

(○)

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】(届出)

事業者たる法人であって、役員のうち、監査役に変更があった場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長への届け出は要しない。

(×)

問 7 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（整備管理者の研修）

貨物自動車運送事業者は、道路運送車両法第 50 条第 1 項の規定により選任した整備管理者であって次に掲げるものに地方運輸局長が行う研修を受けさせなければならない。

- 一 整備管理者として新たに選任した者
- 二 最後に当該研修を受けた日の属する年度の末日を経過した者

(×)

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（点呼等）

貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則の規定により点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者等ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、かつ、その記録を 3 年間保存しなければならない。

(×)

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（業務の記録）

事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った事業用自動車ごとに貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録させ、かつ、その記録を 1 年間保存しなければならない。

(×)

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（適正な取引の確保）

事業者等は、運送条件が明確でない運送の引受け、運送の直前若しくは開始以降の運送条件の変更、荷主の都合による集貨地点等における待機又は運送契約によらない附帯業務の実施に起因する運転者の過労運転又は過積載による運送その他の輸送の安全を阻害する行為を防止するため荷主の意向にかかわらず、適正な取引の確保に努めなければならない。

(×)

問 1 1 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理規程）

事業者等は、運行管理者の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定め、遅滞なく国土交通大臣に届け出なければならない。

（ × ）

問 1 2 【自動車事故報告規則】（速報）

事業者等は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

（ ○ ）

問 1 3 【労働基準法】（労働条件の明示）

使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。明示された労働条件が事実と相違する場合は、労働者は即時に労働契約を解除することができるが、就業のために住居を変更した労働者が、契約解除の日から15日以内に帰郷する場合においては、使用者は、必要な旅費を負担しなければならない。

（ × ）

問 1 4 【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

ア. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり48時間を超えないものとする。

(×)

イ. 1日についての拘束時間は、8時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、13時間とする。

(×)

ウ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとする。

(○)

エ. 労使協定を締結しない場合の拘束時間は、1箇月について320時間を超えないものとする。

(×)

オ. 勤務終了後、継続11時間以上の休息期間を与えるよう努めることを基本とし、休息期間が継続9時間を下回らないものとする。

(○)

問 1 5 【労働安全衛生法】(法令等の周知)

労働安全衛生法に定める事業者は、労働安全衛生法及びこれに基づく命令の要旨を常時各作業場の見やすい場所に掲示し、又は備え付けることその他の厚生労働省令で定める方法により、労働者に周知させなければならない。

(○)

問 1 6 【私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律】(不公正な取引方法)

私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律に定める事業者は、やむを得ない場合を除き私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。

(×)

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】(許可の取消し等)

貨物自動車運送事業法において、一般貨物自動車運送事業者が該当した場合、国土交通大臣が六月以内において期間を定めて自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止若しくは事業の全部若しくは一部の停止を命じ、又は許可を取り消すことができる」とされる事由はどれか。次のア～ウの中から2つ選び、()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 国土交通大臣の許可を受けずに有償で旅客の運送を行った
- イ. 一般貨物自動車運送事業者の事業の計画が、過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものでないと国土交通大臣が判断した
- ウ. 一般貨物自動車運送事業者が法人である場合において、役員が一年以上の拘禁刑に処せられた

(ア) (ウ)

問2【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行記録計による記録)

事業者等が貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による運転者等の業務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～クの中からそれぞれ1つ選び【 】にその記号を記入しなさい。

事業者等は、車両総重量が【 ウ 】以上又は最大積載量が【 ア 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 オ 】保存しなければならない。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ア. 4トン | イ. 5トン | ウ. 7トン | エ. 8トン |
| オ. 1年間 | カ. 2年間 | キ. 3年間 | ク. 5年間 |

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～カの中から3つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物自動車運送事業輸送安全規則の規定により定められた勤務時間及び乗務時間の範囲内において乗務割を作成し、これに従い運転者を事業用自動車に乗務させること。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びに運転者に対して使用するアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録すること。
- オ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- カ. 運転者等台帳を作成し、営業所に備え置くこと。

（ ア ）（ ウ ）（ カ ）

問4【道路交通法】（停車及び駐車を禁止する場所）

道路標識等により停車及び駐車が禁止されている道路の部分及び停車または駐車をしてはならない場所として正しいものはどれか。次のア～エの中から2つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 交差点の側端又は道路の曲がり角からから5メートル以内の部分
- イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から15メートル以内の部分（当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る）
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分

（ ア ）（ エ ）

北陸信越運輸局（注）受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回										再試験										合計										却下 件数	取下 件数
	受験者数	内訳		合格者数	内訳		不合格者数	内訳		合格率	受験者数	内訳		合格者数	内訳		不合格者数	内訳		合格率	受験者数	内訳		合格者数	内訳		不合格者数	内訳		合格率		
		新規	譲渡等		新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等		新規	譲渡等			
R8.5.20	47	46	1	32	32	0	15	14	1	68.1%	9	8	1	6	6	0	3	2	1	66.7%	56	54	2	38	38	0	18	16	2	67.9%	0	3
R8.7.21	42	38	4	33	30	3	9	8	1	78.6%	12	12	0	11	11	0	1	1	0	91.7%	54	50	4	44	41	3	10	9	1	81.5%	0	3
R8.9.18	32	32	0	25	25	0	7	7	0	78.1%	7	6	1	5	5	0	2	1	1	71.4%	39	38	1	30	30	0	9	8	1	76.9%	0	2
合計	121	116	5	90	87	3	31	29	2	74.4%	28	26	2	22	22	0	6	4	2	78.6%	149	142	7	112	109	3	37	33	4	75.2%	0	8